2026年11月13日

各　位

会社名　株式会社サイバーセキュリティクラウド
代表者名　代表取締役社長 兼 CEO　　小池敏弘
（コード番号：4493　東証グロース）
問合せ先　取締役 CFO　　倉田雅史
（TEL.03-6416-9996）

2026年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向を踏まえ、2026年2月13日に公表した2026年12月期の通期業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。なお、本件は適時開示基準に該当しておりませんが、投資判断に資する情報と判断して任意開示を行うものです。

記

１．修正の内容

2026年12月期通期連結業績予想の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	6,000	1,200	1,200	865	84.41
今回修正予想（B）	5,700	1,102	1,102	780	76.65
増減額（B）―（A）	△300	△97	△97	△85	―
増減率（%）	△5.0	△8.1	△8.1	△9.8	―
（参考）前期連結実績（2025年12月期）	5,084	1,102	1,092	821	81.84

２．修正の理由

当社グループを取り巻くサイバーセキュリティ市場は、引き続き堅調な需要が続いております。2026 年 12 月期の当社グループの業績は、各プロダクトのストック収益が堅調に推移し、第３四半期累計の売上高は 4,199 百万円（前年同期比 12.6%増）となりました。

一方で、通期業績につきましては、前回発表予想を下回る見込みとなりました。主な要因として、新中期経営計画の実現に向けて期初に実施した組織体制の大幅な変更に伴い、一時的に営業活動の進捗に遅れが生じたことに加え、当初予定していた価格改定計画の一部を見直したことが挙げられます。いずれの事項についても上期中に対策を講じており、第３四半期以降はその成果が表れ始めております。

さらに、2026 年９月以降、国内でサイバー攻撃による被害が相次いだことを受け、企業におけるセキュリティ対策への関心が一段と高まっており、当社への引き合いも急速に増加しております。ただし、これらの売上計上は 11 月以降に積みあがる見込みであり、ストック型の収益モデルである当社においては、当期業績への寄与は限定的となる見通しです。

また、今回修正予想には、2026 年 11 月 12 日付で開示いたしました「当社開発環境における情報漏えいのおそれに関するお知らせとお詫び（第一報）」に関連して、現時点で合理的に見積もり可能な範囲で、業績への影響を織り込んでおります。今後、調査の進展等により、当期業績に重要な影響が生じると見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

以上を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益において、前回発表予想を下回る見込みとなったため、通期連結業績予想を修正いたします。

（注）上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいて当社において判断したものであり、実際の業績等はさまざまな要因によって異なる可能性があります。

以　上